1406873HC8308

MITSUBISHI ELECTRIC

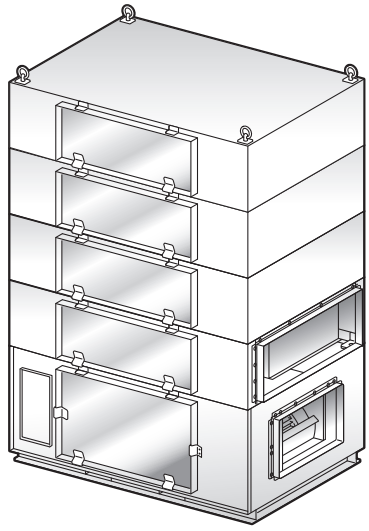
三菱ロスナイ
ビル用ロスナイパック形

形名

三相200V 50Hz	三相200V 60Hz
LP-250X2-50	LP-250X2-60
LP-500X2-50	LP-500X2-60
LP-750X2-50	LP-750X2-60
LP-1000X2-50	LP-1000X2-60

取扱説明書

お客様用



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内（冷熱品）」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

お客様自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること……2
特長……3
各部のなまえとはたらき…4～6
使いかた(PZ-N43SMF)……7
使いかた(PZ-N52SF)…8～9
お手入れ……10～12
保守点検……13～14
「故障かな？」と思ったら……15
アフターサービス……15
仕様……裏表紙

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⚠注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

⚠警告

禁止	**・可燃性ガスが漏れた場合は、ロスナイのスイッチを入・切しない** 電気接点の火花により爆発する原因になります。 窓を開けて換気する
分解禁止	**・改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因になります。
水ぬれ禁止	**・製品を水につけたり、水をかけたりしない** 火災や感電のおそれがあります。

指示に従う	**・指定の電源を使用する** 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります。
	・お手入れ・保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切る 通電状態では感電やけがをすることがあります。
	・異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」に相談する 異常のまま運転を続けると故障・感電・火災の原因になります。

⚠注意

禁止	**・ロスナイの風が直接あたるところに燃焼機器を置かない** 不完全燃焼による事故の原因になることがあります。

指示に従う	**・お手入れ後の部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがをすることがあります。
	・お手入れ・保守点検の際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。

指示に従う	**・長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

特長

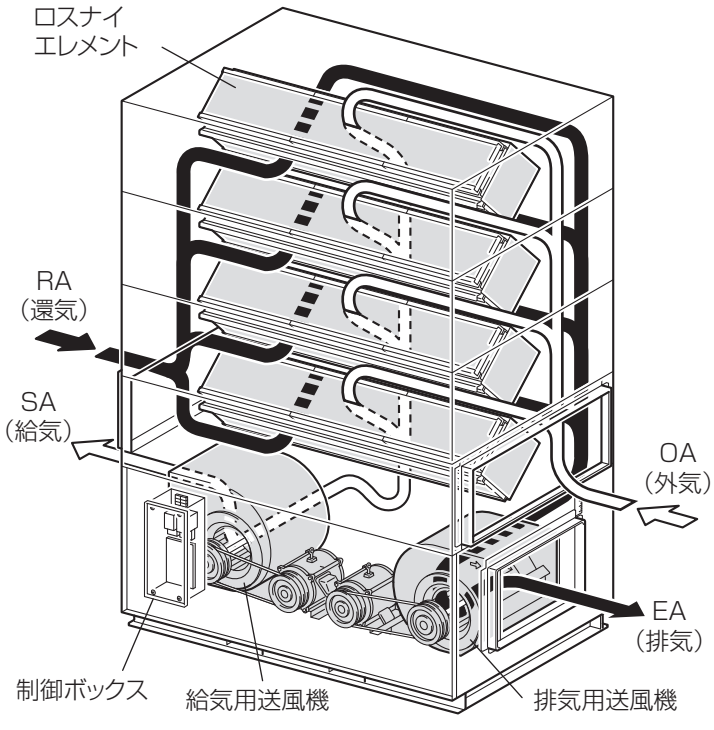
最近の建物は気密性が高く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生などで健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ．ダニの発生につながります。

そこでロスナイによる換気が必要になります。
ロスナイは……室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

主な特長

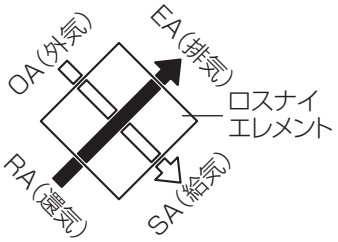
1	ロスナイエレメントの働きで **快適温度**	ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。
2	強制同時給排なので **新鮮空気**	強制同時給排機能によって、きれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。
3	センサーによる **換気モード自動切換**	換気モードは「ロスナイ換気」・「普通換気」があり、センサーが室内外の温度を検知して自動的に選択します。ロスナイリモコン、ロスナイコンパクトリモコンでは手動で切り換えることができます。
4	寒冷地仕様による **寒冷地の運転モード**	エレメントの結露防止のため、外気温が約-10℃以下になると給気側送風機が「60分間運転→10分間停止」を繰り返します。
5	特殊構造により **防音効果**	室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
6	熱ロスが少ないから **省エネ**	室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。
7	機械室の空間に納まる **省スペース**	機械室設置に最適な省スペース床置形です。
8	前面一方向から **簡単メンテナンス**	前面のメンテナンスカバーから清掃ができます。

「ロスナイ換気」と「普通換気」とは



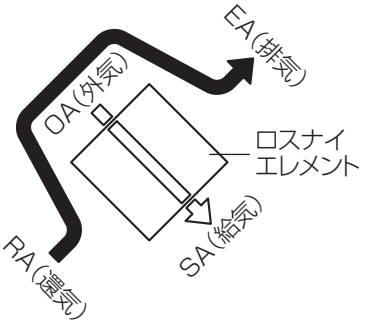
●「ロスナイ換気」とは‥‥

室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に給気されます。冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換気」で運転します。



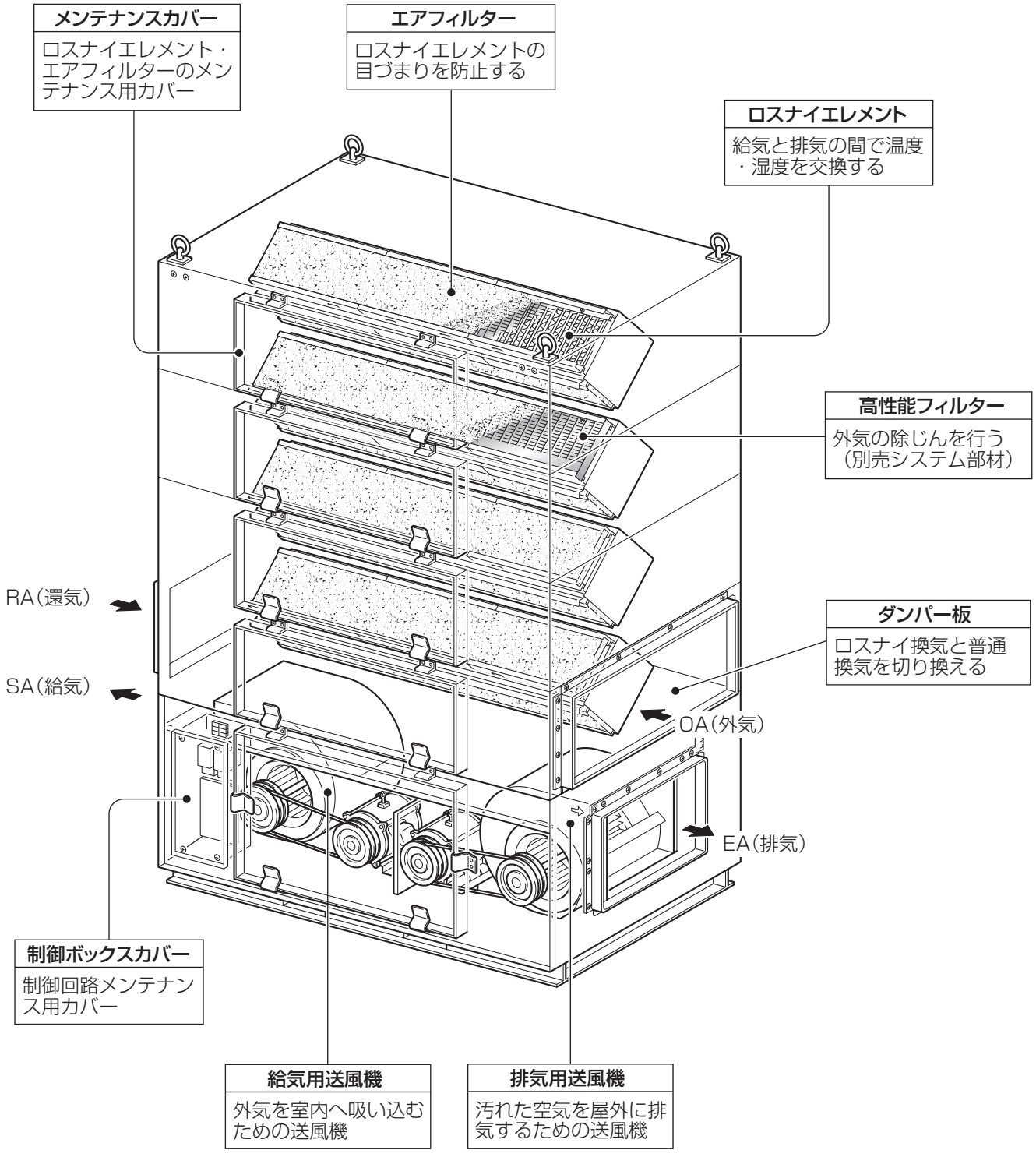
●「普通換気」とは‥‥

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春・秋には「普通換気」で運転します。



各部のなまえとはたらき

※図はLP-1000X2を示す。



マイコン制御でご使用の場合 …ロスナイコンパクトリモコン：PZ-N43SMF

※本製品に加湿、風量切換機能はありません。

換気モード表示
熱交換換気中か普通換気中かを表示
換気モード自動切換を選択中は「自動」を表示

点検ナンバー表示
運転異常時に点検ナンバー、異常ユニット属性、異常ユニットアドレスを切り換えて表示

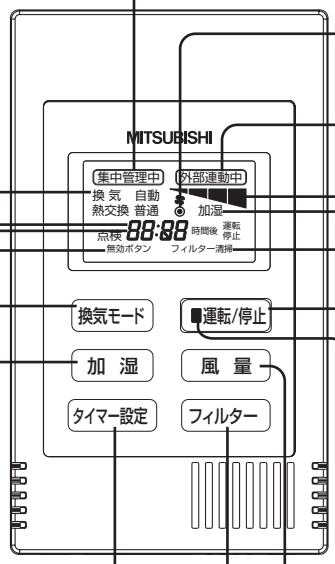
タイマー時間表示
運転開始タイマー、運転停止タイマーの時間を表示

無効ボタン表示
設定する機能がないボタンを押したとき、該当する機能表示と同時に点滅表示

換気モードボタン
押すたびに「自動」切換→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる

加湿ボタン
加湿付ロスナイの加湿器の「運転」・「停止」を切り換える

タイマー設定ボタン
運転開始・停止の時間を設定する。押すごとに30分ずつ加算。押し続けることで早送りが可能



集中管理中 表示
手元スイッチ操作禁止の場合や、外部入力優先に設定され外部機器と連動運転中の場合に表示

通 電 表 示
リモコン通電時に表示

外部連動中 表示
外部機器との連動運転中に表示

風 量 表 示
「強」・「弱」を表示

加湿運転表示
加湿運転中に表示

フィルター清掃表示
エアフィルターの清掃時期に点滅

運転/停止ボタン
「運転」・「停止」を切り換える

運転ランプ
運転中に点灯
運転異常時に点滅

風量ボタン
「強」・「弱」を切り換える

フィルターボタン
2回続けて押すと「フィルター清掃」表示を解除

（上の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。）

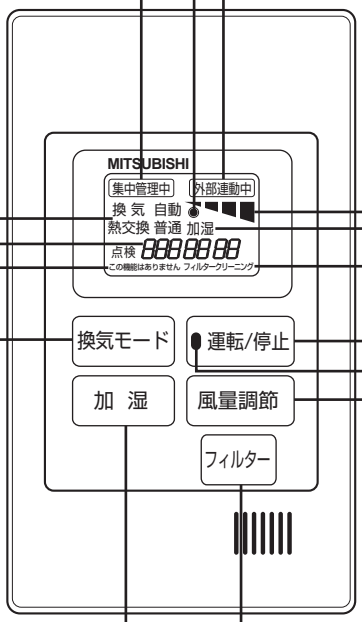
メモ

- 停電復帰後や再度分電盤のブレーカーが入ったときに、換気モードは電源切断前の換気モードになります。
- 設定する機能がないボタンを押した場合は「無効ボタン」と表示されます。
- バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

各部のなまえとはたらき つづき

フリープラン制御でご使用の場合 …ロスナイリモコン：PZ-N52SF

※本製品に加湿、風量切換機能はありません。



集中管理中 表示
手元操作が禁止されているときに表示

換気モード表示
選択された換気モードを表示
- 換気－自動
- 換気－熱交換
- 換気－普通

点検ナンバー表示
運転異常時に点検ナンバーと異常ユニットナンバーを交互に表示

この機能はありません表示
動作しない機能のボタンを押したとき、該当する機能表示と同時に点滅表示

換気モード切換ボタン
押すたびに「換気－自動」→「換気－熱交換」→「換気－普通」と切り換わる

加湿ボタン
加湿付ロスナイの加湿器の「運転」・「停止」を切り換える

通電表示
リモコン通電時に表示

外部連動中 表示
外部機器などの連動運転中に表示

風量表示
「強」・「弱」を表示

加湿運転表示
加湿運転中表示

フィルタークリーニング表示
エアフィルターの清掃時期に点滅

運転ボタン
「運転」・「停止」を切り換える

運転ランプ
運転中に点灯
運転異常時に点滅

風量切換ボタン
「強」・「弱」を切り換える

フィルターボタン
2回続けて押すと「フィルタークリーニング」表示を解除

（上の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。）

メモ

- 停電復帰後や再度分電盤のブレーカーが入ったときに、換気モードは前のモードと同一になります。
- 設定する機能がないボタンを押した場合は「この機能はありません」と表示されます。

お願い

- 設定する機能がないボタンを押した場合は「この機能はありません」と表示されます。
- ネットワークリモコンあるいはグループリモコンにより空調機と連動設定されているロスナイには、本リモコンは使用できません。(連動設定機との併用禁止)

使いかた〔PZ-N43SMFを使用する場合〕

使いかたには‥‥

1 ロスナイコンパクトリモコン使用 ‥‥下記参照
●2リモコン運転の場合、後押優先となります。

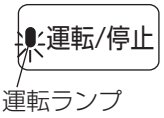
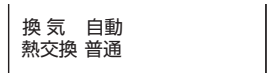
2 外部機器連動運転
- 2-1 外部機器用リモコンとロスナイコンパクトリモコン併用
  - 外部機器と連動運転可能
  - 外部機器運転中にロスナイのみ停止可能
  - 外部機器停止中にロスナイのみ運転可能
- 2-2 外部機器用リモコンのみ使用
  - 外部機器リモコンで運転開始･停止
    換気モードは「自動切換」に設定

1 ロスナイコンパクトリモコン使用の場合

〈最初の運転〉

操作項目	操 作 部	表 示 部	手 順
電源の供給	ブレーカー「ON」		電源を供給すると「H0」が最大45秒間点滅する ダンパーが位置検出のため動作する

〈通常の運転〉

操作項目	操 作 部	表 示 部	手 順
1. 運転開始			**運転/停止ボタンを押す**（運転ランプ点灯）
2. 換気モードの設定			**換気モードボタンを押す** 「自動」切換→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる
3. 運転停止			**運転/停止ボタンを押す** (運転ランプ消灯、通電表示のみ)

換気モードボタンを押すごとに

換気モード	表 示 部
「自動」切換	
「熱交換」固定	
「普通」固定	

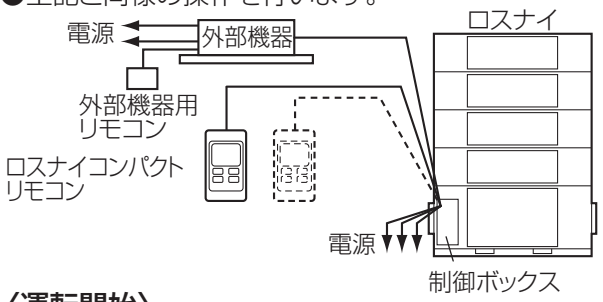
→約3秒後に状況に合わせて→
表示が変わる

使いかた〔PZ-N43SMFを使用する場合〕

2 外部機器連動運転の場合　空調機などの機器と連動運転する場合の運転開始･停止方法です。

2-1 外部機器用リモコンとロスナイコンパクトリモコン併用

●上記と同様の操作を行います。



〈運転開始〉

●外部機器用リモコンを「運転」にする
　外部機器とロスナイが運転開始する。

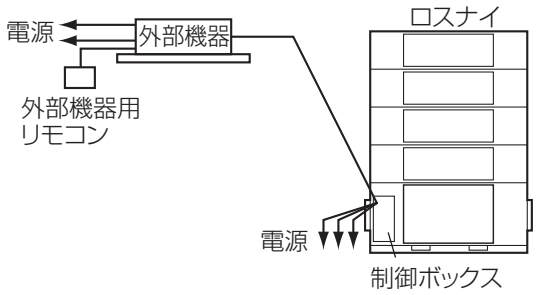
●外部機器停止中にロスナイコンパクトリモコンで「運転」にする
　ロスナイのみ運転開始する。

〈運転停止〉

●外部機器用リモコンを「停止」にする
　外部機器とロスナイが停止する。

●外部機器停止中にロスナイコンパクトリモコンで「停止」にする
　ロスナイのみ停止する。

2-2 外部機器用リモコンのみ使用



〈運転開始〉

●外部機器用リモコンを「運転」にする
　外部機器とロスナイが運転開始する。

〈運転停止〉

●外部機器用リモコンを「停止」にする
　外部機器とロスナイが停止する。

メモ

●換気モードは「自動切換」になります。

使いかた〔PZ-N52SFを使用する場合〕

三菱電機フリープランシステムに組込まれて使用する場合です。
運転については、空調機に連動して空調機の操作により行います。システム部材のロスナイリモコン（フリープラン用）を使用すれば空調機連動運転と別にロスナイ単独運転ができます。詳しくはシステム部材に同梱の取扱説明書を参照してください。

●暖房時、製品本体の結露防止のため「ロスナイ換気」で運転してください。
なお、外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。

使いかたには‥‥

1 **ロスナイリモコン使用** ‥‥下記参照

●2リモコン運転の場合、後押優先となります。

2 **外部機器または空調機器連動運転**
- 2-1 外部機器用リモコンとロスナイリモコン併用
  - 外部機器と連動運転可能
  - 外部機器運転中にロスナイのみ停止可能
  - 外部機器停止中にロスナイのみ運転可能
- 2-2 空調機用リモコンのみ使用
  - 外部機器リモコンで運転開始･停止
  - 換気モードは「自動切換」に設定

1 ロスナイリモコン使用の場合

〈最初の運転〉

操作項目	操　作　部	表　示　部	手　　順
電源の供給	ブレーカー「ON」	HO	電源を供給すると「HO」が最大10分間点滅する ダンパーが位置検出のため動作する

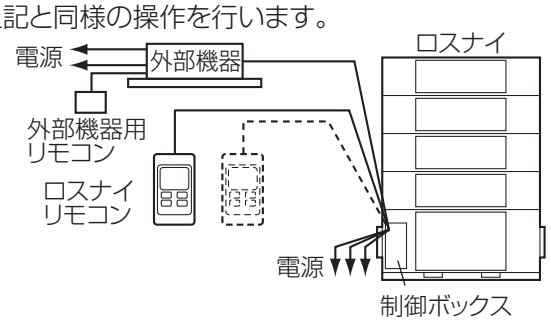
〈通常の運転〉

操作項目	操　作　部	表　示　部	手　　順
1. 運転開始	運転/停止 運転ランプ		**運転ボタンを押す**（運転ランプ点灯） ●リモコンの表示が何もされない場合は、給電ユニットが接続されているか確認する ●「HO」表示がでるときは、グループ登録されているか確認する
2. 換気モードの設定	換気モード	換気　自動 熱交換　普通	**1.換気モード切換ボタンを押すたびに** （「換気熱交換」固定→「換気普通」固定→「換気自動」→「換気熱交換」固定と切り換わる） **2.ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する** **3.メンテナンスカバーを開け、ダンパーの動作を確認する** ●外気温度が8℃以下のときは、「換気普通」に切り換わりません。
3. 運転停止	運転/停止 運転ランプ	◉	**運転ボタンを押す** (運転ランプ消灯、通電表示のみ)

2 外部機器連動運転の場合　空調機などの機器と連動運転する場合の運転開始･停止方法です。

2-1 外部機器用リモコンとロスナイリモコン併用

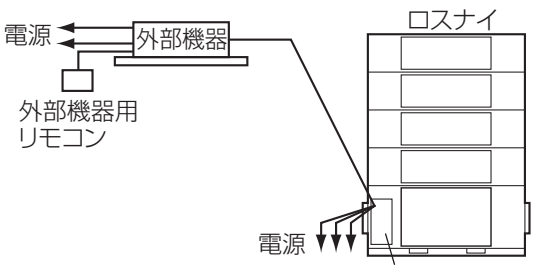
●上記と同様の操作を行います。



〈運転開始〉
●外部機器用リモコンを「運転」にする
外部機器とロスナイが運転開始する。
●外部機器停止中にロスナイリモコンで「運転」にする
ロスナイのみ運転開始する。

〈運転停止〉
●外部機器用リモコンを「停止」にする
外部機器とロスナイが停止する。
●外部機器停止中にロスナイリモコンで「停止」にする
ロスナイのみ停止する。

2-2 空調機用リモコンのみ使用



〈運転開始〉
●空調機用リモコンを「運転」にする
空調機とロスナイが運転開始する。

〈運転停止〉
●空調機用リモコンを「停止」にする
空調機とロスナイが停止する。

メモ
●換気モードは「自動切換」になります。

お手入れ

ロスナイの機能低下を防ぐため、エアフィルター·ロスナイエレメントに付着したごみ·ほこりを定期的に清掃してください。
製品内にもごみ·ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。
高性能フィルター(システム部材)は清掃できませんので交換してください。

エアフィルター清掃目安·····1年に1回以上(運転時間約3000時間)
(または、ロスナイコンパクトリモコンの「フィルター清掃」、ロスナイリモコンの「フィルター清掃」、「フィルタークリーニング」表示が点滅したとき)

ロスナイエレメント清掃目安····2年に1回以上(運転時間約6000時間)
(汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください)

高性能フィルター交換目安·····1年に1回以上(運転時間約3000時間)

⚠警告

●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
通電状態では感電やけがをすることがあります。

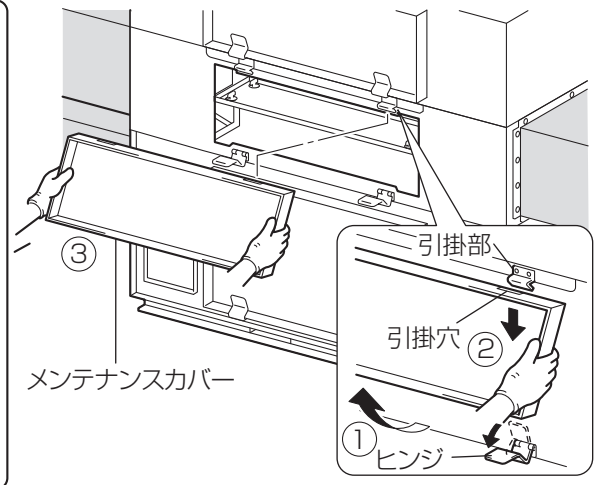
⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因になります。

●お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
落下によりけがをすることがあります。

エアフィルターの清掃

1



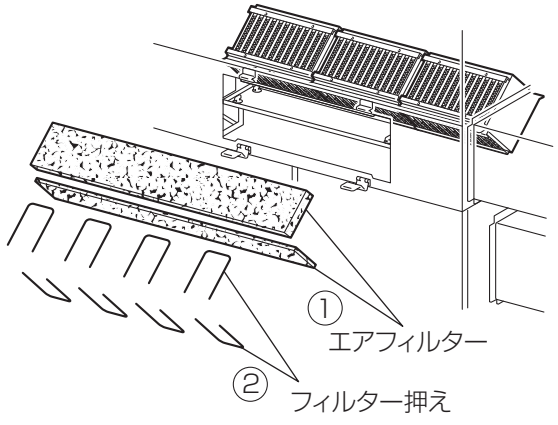
ロスナイエレメント部メンテナンスカバーをはずす

1.メンテナンスカバーのヒンジ（下面2か所）をはずす。
2.メンテナンスカバー上面の引掛部を引掛穴からはずす。
3.メンテナンスカバーを上に持上げてはずす。

お願い

●メンテナンスカバーをはずすときは、必ず両手でささえながらはずしてください。
●メンテナンスカバーの落下・破損がないようていねいに扱ってください。

2

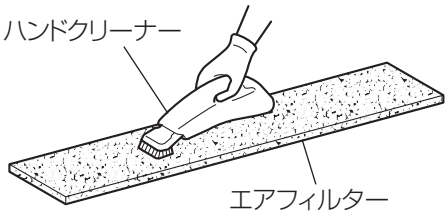


エアフィルターをはずす

1.上下のフィルター押えを広げて、はずしてから、取りはずす。
2.上下のエアフィルターをはずす。

形　名	エアフィルター枚数
LP-250X2	2
LP-500X2	4
LP-750X2	6
LP-1000X2	8

3



エアフィルターの清掃

1.掃除機でほこりを吸い取る。

2.汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

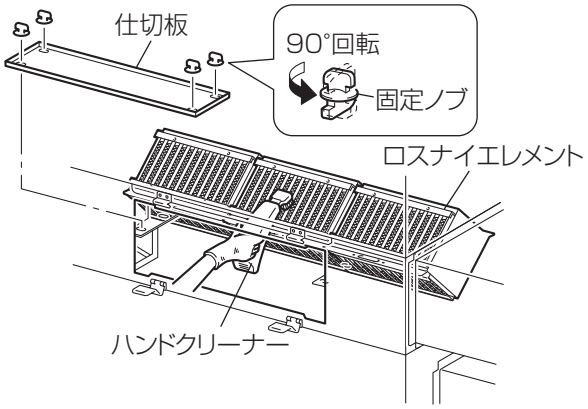
メモ

●交換用のエアフィルターがシステム部材(別売)として、用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。

お願い

●熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
●直接火にあてて乾かすことはしないでください。
●エアフィルターを出し入れするときはロスナイエレメントの表面を傷付けないようていねいに扱ってください。
●エアフィルターは表面の向きに従って取付けてください。
●エアフィルターを入れ忘れますとロスナイエレメントにごみが詰まり、機能低下の原因になります。エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。

4



ロスナイエレメントの清掃

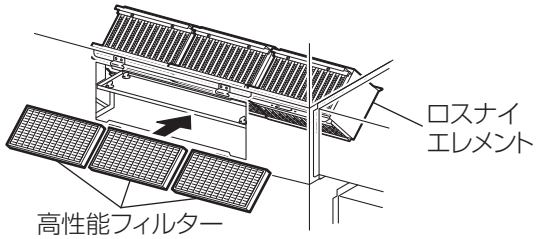
1.仕切板をはずす。
（固定ノブを90°回転させはずす）

2.掃除機で表面のごみ・ほこりを吸い取る。
(掃除機のノズルは、ブラシ付のものを使用し、ブラシを軽く当てて清掃します)

お願い

●掃除機のかたいノズルを当てないでください。ロスナイエレメントの表面が傷付きます。
●ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。
●リモコンスイッチまたは、ロスナイリモコンを使用の場合は清掃終了後、フィルターリセットスイッチを押してください。（2回続けて押す）
●脚立を使用する場合は、安全に注意して清掃作業を行ってください。
●製品内部が暗い場合は、ライトを当て清掃作業を行ってください。

高性能フィルターの取付方法



高性能フィルターを取付ける

1.10ページの「1・2」の要領でエアフィルターをはずす。

2.銘板のように高性能フィルターを取付け、10ページの「1・2」と逆の手順でエアフィルターを取付ける。

お手入れ　つづき

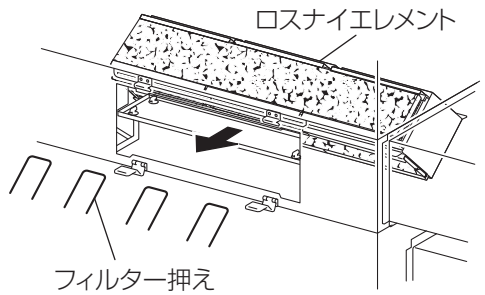
高性能フィルターの交換方法

高性能フィルター(別売システム部材)ご使用の場合
交換

●システム部材の高性能フィルターを購入のうえ取付けてください。

形　名	適用機種	個　数
PZ-N250LPFM	250	3
	500	6
	750	9
	1000	12

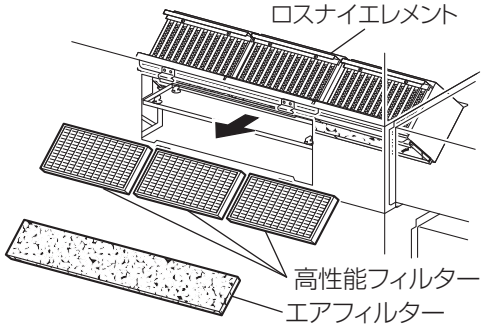
1



フィルター押えをはずす

上のフィルター押えを広げてはずす。

2



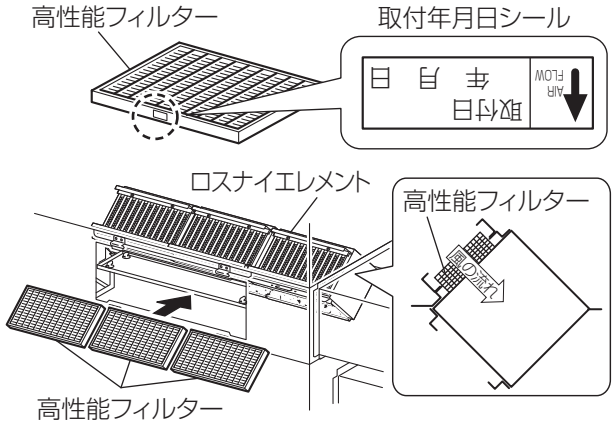
汚れた高性能フィルターをはずす(交換の場合)

エアフィルターをはずし、その下にある高性能フィルターをはずす。

お願い

●汚れが飛ばないよう取扱ってください。

3

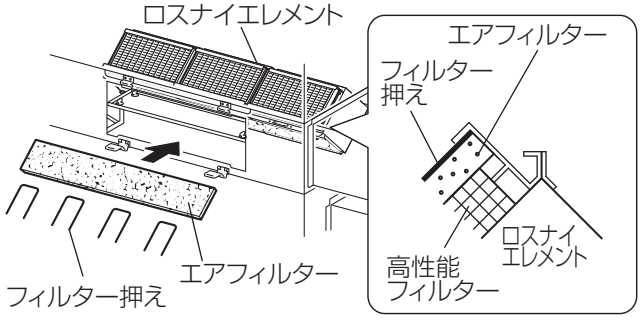


新しいフィルターの取付け

1.取付年月日の記入
　新しい高性能フィルターに貼り付けてある取付年月日記入シールに、取付年月日を記入する。(次の交換時期を知る目安になります)

2.矢印がロスナイエレメント側を向くように取付ける。

4



各部品を元通り取付ける

※銘板の通り取付ける

1.エアフィルターを取付ける。

2.フィルター押えで固定する。

お願い

●フィルターの両端を必ず固定してください。運転中にエアフィルターがはずれる場合があります。

保守点検

⚠警告

●保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切る
通電状態では感電やけがをすることがあります。

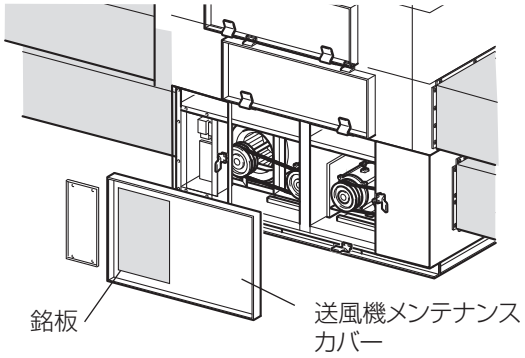
⚠注意

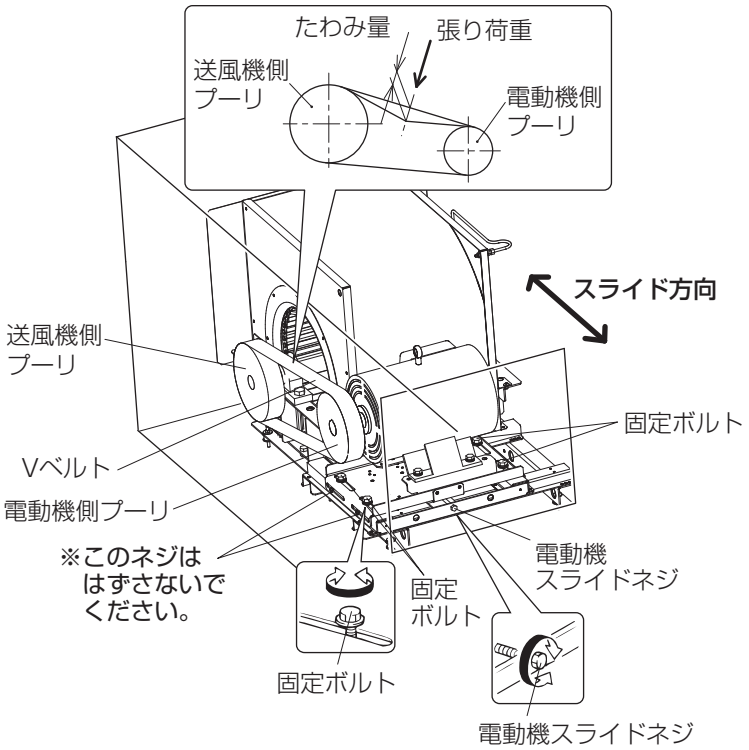
●保守点検の際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因になります。

※ベルトの張りおよび摩耗の確認を定期的に行ってください。

送風機の点検整備

●Vベルトは初期伸びが発生しますので、50時間運転後を目安に張り調整を実施してください。
●定期的な点検は約1500時間ごとに下記の内容の点検を行ってください。
●点検を行わないとVベルトとプーリの寿命が短くなります。また、異常振動等により送風機破損のおそれがあります。





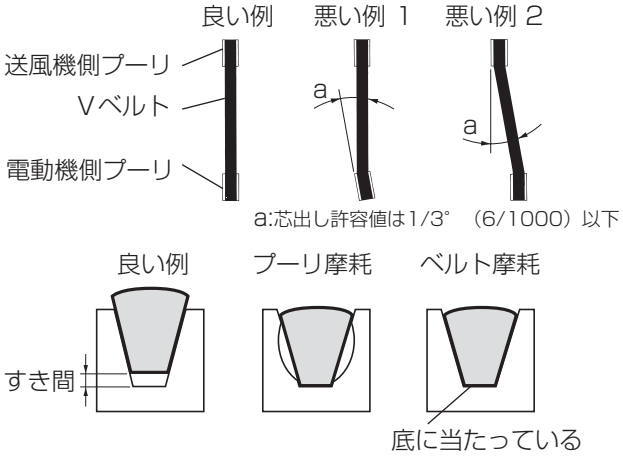
Vベルトの張り状態の点検

1.送風機メンテナンスカバーを取りはずす。
2.送風機の点検をする。
(1)Vベルトのたわみ量の点検
※Vベルトのたわみ量は左図のように中央部を押さえて点検する。（最適たわみ量は下表を参照する）
●Vベルトの張り不足はスリップの原因になり、Vベルトの寿命を縮めます。またVベルトの張りすぎは過負荷の原因になり、Vベルトとベアリングの寿命を縮めます。
●張りを調整しても起動時に若干のスベリ音が発生する場合がありますが、スベリ時間が短いようであれば問題ありませんのでVベルトがなじむまでしばらく様子を見てください。

形　名（タイプ）	電動機容量（kW）	張荷重（N/本）	たわみ量（mm）	Vベルト	
				掛本数	タイプ
LP-250X2	1.5	9	7.3	2	A
	2.2	12			
LP-500X2	3.7	17	7.5		B
	5.5	21			
LP-750X2	2.2	12	7.8		
	3.7	17			
	5.5	21			
	7.5	24			
LP-1000X2	2.2	13			
	3.7	17			
	5.5	21			
	7.5	24			

(2)Vベルトの交換・張り直し
①固定ボルト（4本）をゆるめる。
②電動機スライドネジ（1本）をゆるめて、電動機をスライドさせる。
③Vベルトを交換する。（ベルトサイズは上表を参照）
④電動機をスライドさせ、Vベルトの張りを確認しながら、電動機スライドネジを締める。
⑤固定ボルト（4本）を締め付ける。
⑥もう一度Vベルトの張りを確認する。
●たわみ量と荷重を上表により確認する。

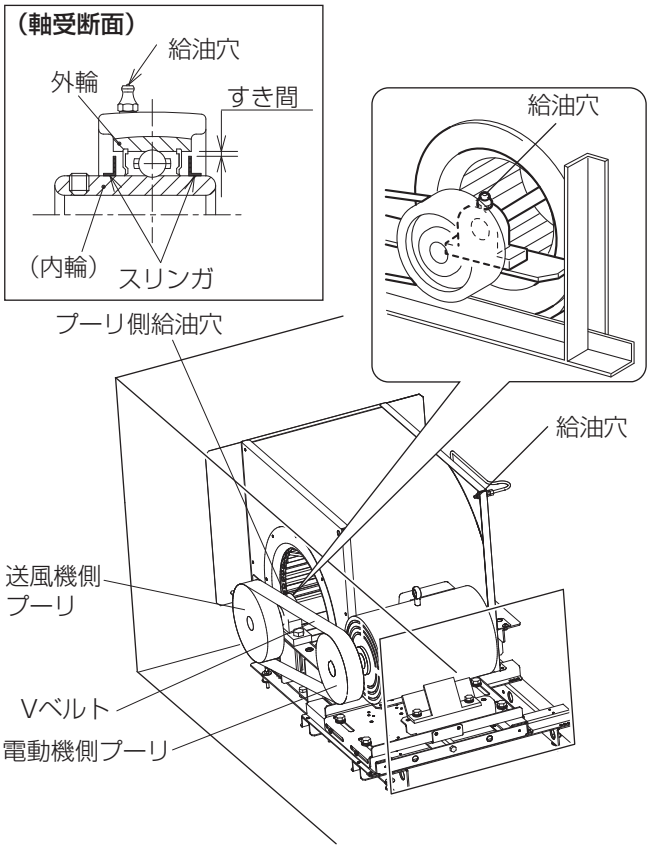
保守点検 つづき



お願い

●プーリを左図のように平行にし、Vベルトを取付けてください。（良い例）
Vベルトがズレて取付けてあると（悪い例1，2）、故障・振動の原因になります。

- Vベルトの脱着時にはけがのないよう十分注意してください。
- Vベルトは消耗品です。定期的に交換してください。（交換時期の目安は3000時間運転前後です）
- Vベルトを交換する場合はすべて交換してください。新・旧ベルトの併用は長さおよび応力に対する伸びが不揃いとなり、耐久力を減少させます。
- Vベルトの交換・張り直し後もVベルトがプーリになじむには数日間かかりますので、数日間運転後ベルトの張り調整を行ってください。（50時間を目安に）
- Vベルトの張りおよび磨耗の確認は、定期的に行ってください。
- プーリ摩耗・ベルト摩耗が発生した場合は、Vプーリ・Vベルトを交換してください。故障の原因となります。
- Vベルトを交換した時は初期的にVベルトの摩耗粉等が飛散する場合がありますので1時間～2時間程度ランニング後、摩耗粉等の飛散がないか確認し清掃してください。



(3)軸受けの点検

LP-250X2タイプの場合

軸受けは無給油式ベアリングユニットを使用していますので、給油の必要はありませんが異常音の発生・潤滑不良・長時間（10,000時間）使用によるグリース切れがありましたらベアリングユニットごと交換する。交換時は現品を確認のうえ同一サイズを取付ける。

LP-500, 750, 1000X2タイプの場合

軸受けの給油は給油穴（2か所）のグリース硬化による給油不能や諸条件に対する安全性を考慮し、約1,500時間ごとに行う。

グリース補給方法

定量器付グリースポンプで下表の補給量を給油するか、または手動式グリースガンでグリースニップルから補給し、軸受の「外輪」と「スリンガ」とのすき間から劣化したグリースが漏れる程度まで補給してください。

形　名（タイプ）	軸受番号	グリース補給量	封入グリース
LP-250X2	UCP206	無	※商　品　名: アルバニヤグリース ※メーカー名: 昭和シェル石油 ※NLGI No.: No.1または2
LP-500X2 LP-750X2 LP-1000X2	UCP207	3.2g	

3.送風機メンテナンスカバーを元通り取付ける。

「故障かな?」と思ったら

現　象	原　　因	処　　置
運転しない	●リモコンの運転スイッチが「停止」になっている(リモコン使用時)	●「運転」にする
	●外部機器連動運転の場合で外部機器が運転していない	●外部機器を運転させる
	●元電源が入っていない	●元電源を入れる
換気しない	●エアフィルター･ロスナイエレメントが目づまりしている	●「お手入れ」に従って清掃する
停止しない	●外部機器連動運転の場合で外部機器が運転している	●外部機器を停止させる

※上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
※リモコンを使用の場合、点検ナンバー表示が点滅している場合は、お知らせください。

アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。
別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。

■ご相談窓口
平日　　9：00～19：00
土・日・祝　9：00～17：00
三菱電機冷熱相談センター　電話0037-80-2224（無料）

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば必ず電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間
●当社はこのビル用ロスナイパック形の補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●ロスナイエレメント・モータ・プーリなど交換が必要な場合は、お近くの三菱電機サービス会社にお問い合わせください。（連絡先は、別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

仕様

形　　名（タイプ）	周波数 (Hz)	定格風量 (m^3/h)	温度交換効率 (%)	エンタルピー交換効率（%）		騒　音 (dB)	質　量 (kg)
				暖房時	冷房時		
LP-250X2-50	50	2500	77	66	60	52.5	440
LP-250X2-60	60	2500	77	66	60	52.5	440
LP-500X2-50	50	5000	77	66	60	57.5	635
LP-500X2-60	60	5000	77	66	60	57.5	635
LP-750X2-50	50	7500	77	66	60	58.5	815
LP-750X2-60	60	7500	77	66	60	58.5	815
LP-1000X2-50	50	10000	77	66	60	59.5	970
LP-1000X2-60	60	10000	77	66	60	59.5	970

※騒音値は本体正面中央前方1m・床上1mの値です。
※上記の値はロスナイ換気の場合を示す。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。